

<小児の救急> 子どもの嘔吐・下痢

お子さんが急に嘔吐おうとをしたり、下痢をしたりすることはしばしば経験しますが、回数が少なく、食欲がいつもと同じで水分も飲める場合は、あわてて医療機関を受診しなくても大丈夫です。

嘔吐や下痢の症状を認める病気はいろいろありますが、小児の場合、一番頻度が高いのはウイルス性胃腸炎です。ウイルス性胃腸炎にかかると嘔吐や下痢だけでなく、発熱や食欲不振も認めます。原因としては、ロタウイルスやノロウイルスなどがあげられます。特に、ロタウイルス胃腸炎は乳児および小児において、脱水症を起こす重症の下痢の原因として世界で最もよくみられます。ロタウイルス胃腸炎に対してはロタウイルスワクチンが、重症化予防に効果があります。2020年よりワクチン接種が無料になりましたので、接種することをお勧めします。接種ができるのは乳児期早期に限定されていますので、出産後、忘れずに、かかりつけ医で接種をしておきましょう。

嘔吐や下痢の症状が続き脱水症が進行してきたら、早めに救急外来を受診したほうがよいでしょう。脱水症というのは、嘔吐や下痢によって、体から水分と電解質が失われると生じます。子どもの身体は大人に比べて必要とされる水分の割合が多く、また水分量を調節する機能も未熟なために、少しの嘔吐や下痢でも脱水症を起こす可能性があります。

脱水症状の特徴は、(1)唇や舌や口の中が乾いている、(2)乳児の頭部の柔らかい部分(大泉門)がくぼんでいる、(3)眼球が落ちくぼんでいる、(4)泣いているのに涙が出ない、(5)皮膚の張りが無い、(6)おしっこが半日くらい出ない・量が少なく色が濃い、さらに、(7)ウトウト眠ってばかりいるのは嗜眠(しみん)とって、重症の可能性が有ります。

脱水症状が進行しないように、嘔吐や下痢の症状が出たら早めに経口補水液による水分と電解質の補充を始めましょう。経口補水液というのは、体から失われた体液を経口的に補う飲料のことです。①水、②電解質(特にNaイオン)、③ブドウ糖が一定の割合で含まれています。似たような製品でスポーツドリンクがありますが、Naイオン濃度などが異なるため、経口補水液を使ってください。大塚製薬の経口補水液「OS-1(オーエスワン)」は、調剤薬局やドラッグストアなどで売られておりますので、家庭で何本かストックしておくと思ひます。

【中央検査部長兼小児科診療部長 針谷 晃】

